

解析学 II 解答例

2013.06.10

■ $\mathbf{x} = (x_j)$ を n 次元ベクトル, A を $n \times n$ 行列とすると, $\|\mathbf{x}\|_\infty$ と $\|A\|_\infty$ をそれぞれ

$$\|\mathbf{x}\|_\infty = \max(|x_1|, |x_2|, \dots, |x_n|), \quad \|A\|_\infty = \sup_{\mathbf{x} \neq \mathbf{0}} \frac{\|A\mathbf{x}\|_\infty}{\|\mathbf{x}\|_\infty}$$

により定義する. このとき, 次が成り立つことを示せ.

- (1) $\|A\|_\infty = 0$ であるための必要十分条件は $A = O$ である.
- (2) すべての \mathbf{x} に対して $\|A\mathbf{x}\|_\infty \leq \|A\|_\infty \|\mathbf{x}\|_\infty$ が成り立つ.

(解) (1) (\implies) $\|\mathbf{x}\|_\infty$ と $\|A\|_\infty$ の定義より, すべての \mathbf{x} に対して,

$$0 = \|A\|_\infty \geq \frac{\|A\mathbf{x}\|_\infty}{\|\mathbf{x}\|_\infty} \geq 0$$

より $\|A\mathbf{x}\|_\infty = 0$ であり, $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$ が成り立つ. したがって, $A = O$ である.

(\impliedby) すべての \mathbf{x} に対して, $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$ より $\|A\mathbf{x}\|_\infty = 0$ であるから,

$$\|A\|_\infty = \sup_{\mathbf{x} \neq \mathbf{0}} \frac{\|\mathbf{0}\|_\infty}{\|\mathbf{x}\|_\infty} = \sup_{\mathbf{x} \neq \mathbf{0}} 0 = 0$$

である.

(2) $\mathbf{x} \neq \mathbf{0}$ のとき, $\|A\|_\infty$ の定義より

$$\|A\|_\infty \geq \frac{\|A\mathbf{x}\|_\infty}{\|\mathbf{x}\|_\infty}, \quad \text{つまり,} \quad \|A\mathbf{x}\|_\infty \leq \|A\|_\infty \|\mathbf{x}\|_\infty$$

が成り立つ. $\mathbf{x} = \mathbf{0}$ のとき $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$ より $\|A\mathbf{x}\|_\infty = 0 \leq 0 = \|A\|_\infty \|\mathbf{x}\|_\infty$ であるから, すべての \mathbf{x} に対して $\|A\mathbf{x}\|_\infty \leq \|A\|_\infty \|\mathbf{x}\|_\infty$ が成り立つ. ■